

# 化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m <sup>2</sup> )	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	胃癌
治療法	サイラムザ+パクリタキセル併用療法

	1	2
抗癌剤・商品名	サイラムザ	パクリタキセル
規格	100mg/10mL 500mg/50mL	30mg/6mL 100mg/16.7mL
一般名	ラムシルマブ	パクリタキセル
一日投与量(規定)	8mg/kg	80mg/m <sup>2</sup>
患者情報から算出した一日投与量	<b>400 mg</b>	<b>120.09 mg</b>
実際の投与量	<b>400 mg</b>	<b>120 mg</b>
	<b>8 mg/kg</b>	<b>79.9 mg/m<sup>2</sup></b>
投与日	day1,15	day1,8,15
1クール期間	28日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日に化学療法施行前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	治癒切除不能・進行胃癌
推奨経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。経口デカドロンは推奨されません。
禁忌	<ol style="list-style-type: none"> <li>重篤な骨髄抑制のある患者</li> <li>本剤又はポリオキシエチレンヒマシ油含有製剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者</li> <li>妊婦又は妊娠している可能性のある婦人</li> <li>感染症を合併している患者</li> <li>次の薬剤を投与中の患者: ジスルフィラム, シアナミド, カルモフル, プロカルバジン塩酸塩</li> </ol>
中止基準	投与前の好中球数: 1000/mm <sup>3</sup> 未満、血小板数: 50,000/mm <sup>3</sup> 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE Ver4.0におけるgrade3の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●サイラムザ</p> <p><b>重大</b> 1.動脈血栓塞症(1.8%)、静脈血栓塞症(4.0%)、2.infusion reaction(5.8%)、3.消化管穿孔(1.2%)、4.出血(41.9%)、5.好中球減少症(54.4%)、白血球減少症(33.9%)、6.うつ血性心不全(2.4%)、7.創傷治癒障害(頻度不明)、8.瘻孔、9.可逆性後白質脳症候群(頻度不明)</p> <p><b>その他</b> 疲労・無力症(56.9%)、下痢(32.4%)、鼻出血(30.6%) 単独投与時: 腹痛(28.8%)、高血圧(16.1%)</p> <p>●パクリタキセル</p> <p><b>重大</b> 1.ショック(0.2%)、アナフィラキシー様症状(0.3%) 2.骨髄抑制(白血球減少(61.4%)、好中球減少(55.5%)、貧血[ヘモグロビン減少(30.7%)、ヘマトクリット値減少(5.0%)、赤血球減少(11.2%)等]、血小板減少(11.7%)、汎血球減少等、感染症[尿路感染(2.3%)、上気道感染(4.8%)、敗血症(0.9%)、带状疱疹(1.0%)、肺炎(1.1%)等]</p> <p>3.末梢神経障害(43.8%)、麻痺(0.1%)、片麻痺(0.1%未満)、不全麻痺(頻度不明)</p> <p>4.間質性肺炎(0.5%)、肺線維症(頻度不明) 5.急性呼吸窮迫症候群(0.1%未満) 6.心筋梗塞、うつ血性心不全、脳卒中、肺水腫(以上0.1%未満)、心伝導障害(頻度不明)、肺塞栓(0.1%)、血栓性静脈炎(0.4%)</p> <p>7.難聴(0.2%)、耳鳴(0.5%) 8.消化管壊死(頻度不明)、消化管潰瘍(0.1%)、消化管穿孔、消化管出血(以上0.1%未満)</p> <p>9.出血性大腸炎(0.1%未満)、偽膜性大腸炎、虚血性大腸炎(以上頻度不明) 10.腸管閉塞(1.6%)、腸管麻痺(0.1%)</p> <p>11.肝機能障害(4.0%)、黄疸(0.1%未満) 12.膵炎(0.1%未満) 13.急性腎不全(0.2%)</p> <p>14.中毒性表皮壊死融解症、皮膚粘膜眼症候群(頻度不明) 15.播種性血管内凝固症候群(DIC)(0.1%)</p> <p>16.腫瘍崩壊症候群(頻度不明) 17.白質脳症(可逆性後白質脳症候群を含む)(頻度不明)</p> <p><b>その他</b> 脱毛症(92.3%)、発疹(37.6%)、爪の障害(20.4%)、感覚減退(76.8%)、味覚異常(12.7%)、浮動性めまい(11.0%)、疲労(70.2%)、浮腫(17.1%)、発熱(12.2%)、悪心(39.2%)、嘔吐(18.2%)、下痢(29.8%)、便秘(22.1%)、食欲不振(21.0%)、口内炎(17.7%)、筋痛(43.1%)、関節痛(39.8%)、鼻咽頭炎(18.2%)、体重減少(12.7%)、体重増加(10.5%)、高血圧(12.7%)</p>
備考	

# サイラムザ+パクリタキセル併用療法①⑮ 観察記録

所要時間: 3時間30分

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日		クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )		
医師	指示医師:	<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由			抗がん剤以外の薬剤の変更・追加		
	サイラムザ(            mg ) 一般名(ラムシルマブ) パクリタキセル(            mg ) 一般名(パクリタキセル)						
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止					投与開始時間	調剤	実施
投与指示	本体	側管					
	生食250mL		3時間30分かけて点滴【70mL/hr】				
		生食20mL + ファモチジン1A	静注				
		ポララミン1A	静注				
		生食100mL + デカロン 2A + ラモセトロン(0.3mg) 1A	30分かけて点滴【200mL/hr】				
		生食250mL + サイラムザ 【全量250mLに調製する】	60分かけて点滴【250mL/hr】 ※フィルター付き点滴ラインを使用				
		経過観察	60分かけて ※infusion reaction の出現が認められていなければ3コース目以降は省略可				
	5%ブドウ糖250mL + パクリタキセル	60分かけて点滴【270mL/hr】 ※フィルター付き点滴ラインを使用					
本体終了後除去							

# サイラムザ+パクリタキセル併用療法⑧ 観察記録

所要時間: 2時間

氏名: ID( ) 年齢: ( 才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬( )	入外( )
医師	<b>指示医師:</b> <b>パクリタキセル(                    mg )</b> 一般名(パクリタキセル)		<b>抗癌剤用量</b> 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の 薬剤の変更・追加
	<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止			投与 開始時間
投与指示	本体	側管		
	生食250mL		2時間かけて点滴【125mL/hr】	
		生食20mL+ファモチジン1A	静注	
		ポラミン1A	静注	
		生食100mL +デカドロン 2 A +ラモセトロン(0.3mg) 1A	30分かけて点滴【200mL/hr】	
	5%ブドウ糖250mL +パクリタキセル	60分かけて点滴【270mL/hr】 ※フィルター付き点滴ラインを使用		
本体終了後抜去				